

特集 今、滋賀の若者たちは何を考える・・・

「滋賀の大学生による座談会」

平成生まれの若者たちが、社会人としての第一歩を歩み始めています。この春社会に出る若者たちは、自分たちの人生をどのように考えているのでしょうか。センター事業に関わってくれた若者たちの思いを聞きながら、若者にとっての男女共同参画の意義について考えます。

(座談会 平成 25 年 1 月 8 日 進行：滋賀県立男女共同参画センター所長 敬称略)



4月から社会人になる 今の気持ちは？

所長 4月から社会人として第一歩を踏み出されるみなさん、今の素直な気持ちをお伺いします。

國光 大学生のままがいいという思いもありますが、4月を見据えて、住む所などの準備を進めています。

小嶋 4月から小学校で働くことになっています。しっかり働けるか不安ですが、一日も早く、教師として働くことの魅力を見つけていきたいと思っています。

小椋 働くことについては、とても楽しみにしています。環境も大きく変わるので不安もあります。特に、人間関係などが気になります。学生のうちにできることを、今のうちにやっておきたいと思っています。

宅間 自由な時間が多い大学生活が終わってしまうという寂しさと、4月から社会人になるという不安や期待があって複雑な気持ちです。

「仕事をする、働く」 ということについては？

所長 さまざまな思いの中で、社会人として「仕事をする」と「働くこと」について、みなさんの思いをお伺いします。

小椋 早く仕事をしたいという気持ちです。「自分がどれだけやれるのか？」を試してみたいです。



國光 これまでは自分のことだけで、あまり社会的責任というものを考えない生活でしたが、教師になったら子どもを預かるという重い責任があります。「責任」ということについて、改めて考えさせられます。

小嶋 大学は人生の夏休みだと言われることもありますが、それが終わってしまう寂しさと、社会人として責任をもってしっかりとしなければという思いでいっぱいです。

宅間 まだ学生気分が抜け切れていない感じがします。社会人として責任をもってしっかりとやっていけるか不安な面もありますが、新しい環境の中で素直な気持ちでがんばっていききたいです。

所長 「責任」ということについて、みなさんからは強い思いが伝わりますね。4月からの自分の仕事についてどのようにお考えですか。

小椋 就活中は、結婚して子どもを産んでも仕事を続けていくという思いで仕事を選びました。仕事はずっと続けていきたいと考えています。

小嶋 小学生の頃に習った先生にあこがれて、小学校の教師になりたいと思っていました。やっとなれるという思いです。ずっと続けていきたいと考えています。ただ、どこかでつまづくのではないかと考えてしまうこともあります。まさに「期待」と「不安」が入りまじった感じです。



滋賀大学
4回生 國光祐平さん



滋賀大学
4回生 小嶋瑞穂さん

國光 教育実習や小学校でのボランティア活動に参加して、とてもやりがいのある仕事だと感じました。「先生になりたい」という熱意はすごくあります。重い責任があるだけに不安もありますが、実際に子どもたちの前に立ったら、子どもたちの成長のために最善を尽くしたいです。

宅間 就活の面接では、ありのままの自分を出せたことで採用をもらったと思っています。働きたいという思いを第一に笑顔を見てもらいました。自分らしさを大切にしながら仕事に前向きに取り組んでいきたいと思っています。

5年後、10年後のイメージは？

所長 5年後、10年後の生活をどのようにイメージされていますか？

國光 子どもがいると思います。パートナーには、2人で話し合っ、仕事を続けて欲しいと思っています。自分自身、子育てには大変興味がありますし、子育てや家事もしながら、仕事をがんばりたいです。僕の母親も働いていましたし、家族が楽しく生活できていました。夫婦で協力して十分やっていけると思います。

小椋 まず、3年はしっかり働いてキャリアアップしたいと思っています。結婚しても子育てしながら働きたいです。私たちの世代では、パートナーに養ってもらおうというイメージはあまりないのではないのでしょうか。夫婦共働きで、子育てもしていくというイメージがあります。

宅間 まず働いて仕事を覚え、会社や地域の人たちとなじんでいきたいと考えています。結婚については、まだイメージできていません。生活が安定した30歳ぐらいになって結婚できたらいいなと思っています。それまでは誠意を持って仕事をやっていきたいと思っています。

小嶋 育休や産休などの制度を利用し、結婚しても、子育てをしっかりとやりながら教師を続けていきたいと思っています。夫婦が共働きで、お互いに自立しているような生活をしていけたらいいなと思っています。



滋賀県立大学
4回生 小椋樹里さん



聖泉大学
4回生 宅間克成さん

最後に、4月からの意気込みを！

所長 みなさんからは「仕事」「働くこと」を中心にお話を伺ってきました。最後に、4月から社会人になることへの意気込みについて、お伺いします。

小嶋 教師を続けていきたいと思えるよう、いろんな人や物と豊かに関わることでできる子どもを育てていきたいです。子どもがどのように成長していくかが楽しみです。子どもたちに思い出を与えられるような教師になりたいと思います。

國光 中学校の野球部では「勝つための野球」で苦しかった思いがありましたが、高校では勝てなかったけど、「常笑」をモットーにがんばってきました。子どもにも笑顔で過ごせる環境づくりをしていきたいと思っています。また、自分自身も笑顔を大切にしたい教師になりたいと思います。

宅間 お客さんに「おいしい」「ありがとう」と言ってもらえるよう、自分の責任をしっかりと果たしていきたいです。

小椋 「自分に何ができるのか？」をしっかりと見極めながら仕事をして、キャリアアップをめざしていきたいです。

所長 ありがとうございます。みなさんが、仕事や自身の生活について、様々な希望や思いをお持ちであるということがよく分かりました。

自分自身の思いを大切にしながら、長期的視点に立ってライフプランニングをしてほしいと思います。みなさんの活躍を楽しみにしています。

..... 座談会を終えて

仕事と家庭を両立させて活躍している人がお手本として家族などの身近なところにいることが、若い人のライフプランをより明確にしていると感じました。今後、仕事を続けていくうえでも、それぞれの職場でお手本となる人に出会えることが大事だと思います。

また、男性も女性も、将来結婚したら夫・妻ともに働き、育児や家事も協力し合っていきたいと語ってくれたのが印象的でした。今、社会全体で子育て支援や仕事と生活を両立するための取組が進められています。男女ともに育児休業や短時間勤務など、子育て期の働き方を選択することができれば、今より子育てができる男性も、仕事を続けられる女性も増えると思います。

若いみなさん、制度やしぐみを理解して、将来を見据えて、様々な選択肢の中から自分たちに合った働き方を選んでいってください。

これからの人生の様々な場面で、男女共同参画センターはみなさんを応援していきます。



滋賀県立男女共同参画センター
所長 池田美幸